

目的

- 街の観光資源をバーチャル化することで、リアルとバーチャルの相互作用を活かした観光事業を構築して来訪者を増やす。
- 令和7（2025）年3月に開館する鳥取県立美術館をデジタル化し、オープン前からバーチャルで美術館を体験できるようにし、来訪者の増加と開館に向けた機運を高める。
- 都市部と協業したバーチャルイベントを開催し、SNS等でコミュニケーションを拡充することで、都市部から遠いという地理的不利をデジタル技術で克服し、交流人口から関係人口の増加を目指す。
- バーチャル倉吉をデジタル教育に活用することでデジタル人材の育成を行う。



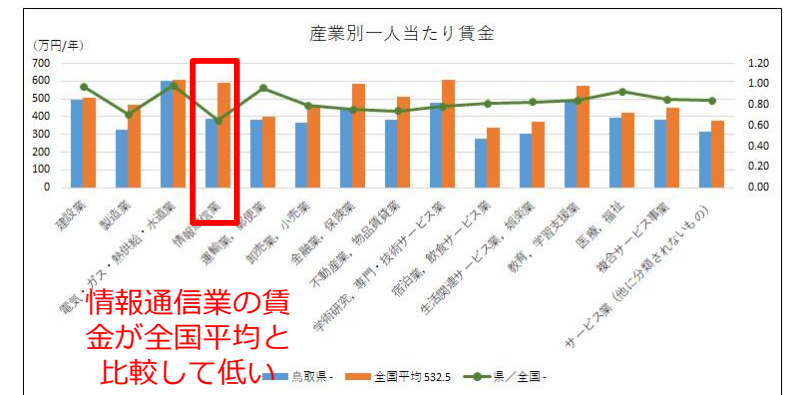
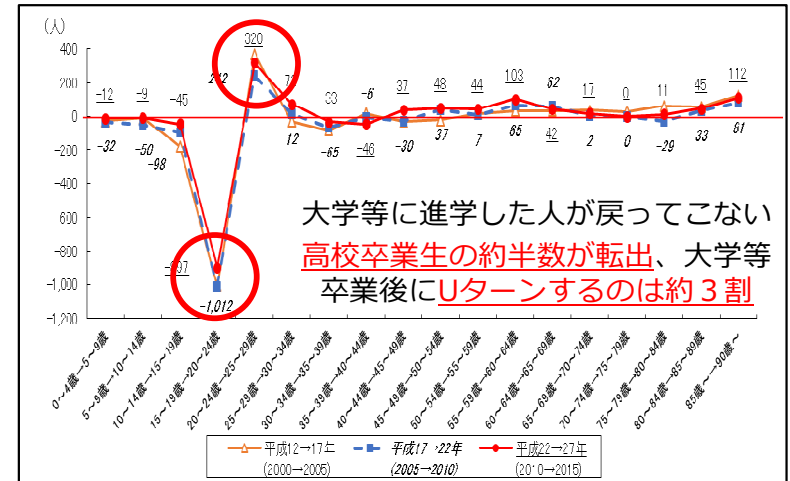
古い街並みを再現



県立美術館を再現

背景

- 倉吉市は若年層の人口流出が大きい。
- 若年層は、情報通信産業などの成長産業への就職を希望する人が多いが、倉吉市内の就職先が非常に少なく、また、年収も少ない現状。
- 令和7（2025）年3月に倉吉市に鳥取県立美術館が開館予定。美術館と既存施設の連携を図り、相乗効果を発揮することにより、経済効果を高めることが必要。
- 美術館を発表する場・発信する場として活用。
- 観光分野では、公共交通の減便や運賃の値上げなどにより、倉吉市を訪れるハードルが高くなっている。
- コロナの収束、大阪・関西万博の開幕によりインバウンドの大幅な増加が見込まれている。
- デジタル化の進展により地理的・時間的な距離に係なくコミュニケーションが取れるようになっている。



<p>内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年2月23日にVRChat上にオープン ・倉吉市の<u>古い街並みと県立美術館を再現したワールド</u>と、<u>ファンタジー要素を取り入れた夜の街並みを再現したワールド</u>を作成。 ・<u>農産物や特産品などの紹介や、体験型観光商品（射的、ほだき紙）のギミック</u>を実装 ・<u>VTuberとコラボ</u>した企画をバーチャル倉吉で実施
<p>今後の展開</p>	<p>【美術品、観光資源等のバーチャル体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市内の<u>観光施設や鳥取県立美術館をバーチャルで体感</u>。 ・子どもたちの美術作品を3D化し、<u>バーチャル倉吉に展示</u>。 <p>【バーチャルイベントの開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアルイベント等の終了後にデジタルの<u>アフターイベントを開催</u>。 ・バーチャル倉吉体験会を開催。 <p>【デジタル教育の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3Dソフトウェアを使って遊びながらプログラムを学べる<u>デジタル教育講座の開催</u> <p>【データ連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地元特産品のEC販売との連携</u> ・観光情報との連携



バーチャル倉吉体験秋



バーチャル倉吉でイベントを実施

【参考画像】



倉吉市公認のゆるキャラ「くらすけくん」と写真撮影



ファンタジー要素を入れた夜の街並みを再現



VTuberとのコラボ企画を実施